

# 研究通信

令和5年11月8日(水)  
東久留米市立第十小学校  
研究通信 No.2  
研究部

## 今年度の校内研究について

本校では、「自分の考えをもち、表現できる児童の育成」を研究主題しました。昨年度に引き続き、文学教材の研究として「説明的文章教材の指導法」の研究に取り組んでいきます。低学年・中学年・高学年と3つの分科会に分かれ、校内研究を通して児童に「説明的文章を読む力」や「自分の考えをもって表現する力」を養っていきます。

今年度も低・中・高学年の3クラスでの研究授業（全教員で参観して協議する）を行います。研究したことを実践する授業はどの学級でも行っています。また、「主体的・対話的で深い学び」、多様な学習形態の効果的な活用など、今までの十小で研究してきたことも継続して指導しています。

中学年では段落相互の関係に着目し、中心となる語や文を見付け、分かったことや考えたこと叙述をもとに表現できることを目標にして指導していきます。

### 第一回研究授業 「世界にほこる和紙」

ねらい 中心となる語や文を見つけて要約することができる。

9月22日(金)に第一回研究授業が4年2組で行われました。中学年では、

#### (1) 児童が自ら考える授業の工夫と改善

- ①グループ活動を充実すること
- ②説明文を読むための「説明の技」を身に付けること

#### (2) 児童が自分の考えを豊かに表現できる指導の工夫と改善

- ① 説明文を読むため(書くため)の「説明の技」を可視化すること
- ② 文の構造を細かく分析すること
- ③ 言語活動の機会を増やすこと
- ④ 教室における環境整備すること

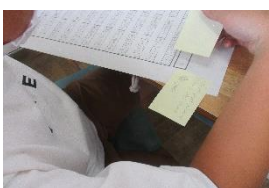
を手立てとして研究を進めてきました。



初めに前回までの振り返りをしました。中心の語や文を見つけて学習したことを思い出しました。めあてを確認して、読む姿勢や声の大きさを意識して音読をしました。そして、「要約マスターシート」を基にして、どのように要約すればいいかを確認しました。赤線は絶対に使う言葉や文、青線は自分が大事だと思った言葉や文です。



次に「要約マスターシート」を基にして要約を始めました。200文字程度に要約するために必要な言葉やつなぎ言葉に注意しながら要約をしました。また、グループになり必要な言葉について考えました。要約ができた子同士で読み合い、要約文の良さについて付箋で書いてコメントを書きました。



最後に全体で発表をしました。完成した要約文を全体で共有することができました。そして、今日の学習の振り返りを行いました。

講師の先生から、音読の仕方についての指導と要約マスターシートの活用による効果についてのお話をいただきました。音読は普段の読み方や意味を捉えながら読むことが大切です。また、使用したマスターシートの活用は有効でしたが、教科書と一緒に使うとさらに良いとお言葉を頂きました。中学年の説明文では「中心となる語や文を見付ける」が何よりも大事で、説明文を読むために必要な学習です。この学習が高学年の学習にも繋がっていきます。